

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-189108

(43)Date of publication of application : 11.07.2000

(51)Int.Cl.

A23L 1/305

A23J 3/04

A23J 3/34

A23L 1/30

A23L 1/302

A23L 1/304

// A61P 3/04

A61K 31/165

A61K 31/44

A61K 31/52

A61K 31/525

A61K 33/06

A61K 38/00

(21)Application number : 10-371670

(71)Applicant : AAVAN GUTSUDEI:KK

(22)Date of filing : 25.12.1998

(72)Inventor : KASHIMA MASAKO

HARIMA SEIICHI

## (54) DIETARY FOOD

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a dietary food effective for getting a tight and slim body form without necessitating unreasonable suppression of appetite to cause the deficiency in necessary nutrition by including an animal composite amino acid peptide, vitamin B2 and B6, caffeine and calcium.

SOLUTION: The objective dietary food contains an animal composite amino acid peptide such as a peptide produced by hydrolyzing cattle or sheep muscle with proteinase, vitamin B2 effective for promoting the metabolism of fat, vitamin B6 effective for increasing the absorption of protein, caffeine activating  $\beta$  3 receptor existing in cell membrane, calcium such as coral calcium and preferably further capsaicin obtained as an extracted component of Guinea pepper. The food is preferably formed in the form of a tablet, etc., by adding an excipient such as crystalline cellulose or lactose to the above compounding components.

(19) 日本国特許庁 (JP)	(12) 公開特許公報 (A)	(11) 特許出願公開番号 特開2000-189108 (P2000-189108A)	
(43) 公開日 平成12年7月11日 (2000.7.11)			
(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	
A 2 3 L 1/305		A 2 3 L 1/305	
A 2 3 J 3/04	5 0 1	A 2 3 J 3/04	
9/34		5 0 1	
A 2 3 L 1/30		A 2 3 L 1/30	
1/302		1/302	
審査請求 未請求 請求項の数 2 O.L. (全 4 頁) 最終頁に統く			
(21) 出願番号	特願平10-371670	(71) 出願人 596158020 株式会社アーバン・グッディ 東京都新宿区高田馬場1-31-8 高田馬場 ダイカンプラザ710	
(22) 出願日	平成10年12月25日 (1998.12.25)	(72) 発明者 香島 正子 東京都新宿区高田馬場1-31-8 高田馬場 ダイカンプラザ819 株式会社アーバン・グッディ内	
		(74) 代理人 100064908 弁理士 志賀 正武 (外9名)	
		最終頁に統く	

## (54) 【発明の名称】 ダイエット食品

## (57) 【要約】

【課題】 無理に食欲を抑える必要がなく、必要な栄養の不足を生じることなく、また引き締まった体型にするのに有効なダイエット食品を提供する。

【解決手段】 動物性複合アミノ酸ペプチド、ビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンB<sub>2</sub>、カフェイン、およびカルシウムを含有してなることを特徴とするダイエット食品。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 動物性複合アミノ酸ペプチド、ビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>、カフェイン、およびカルシウムを含有してなることを特徴とするダイエット食品。

【請求項2】 動物性複合アミノ酸ペプチド、ビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>、カフェイン、カルシウム、およびカブサイシンを含有してなることを特徴とするダイエット食品。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は動物性複合アミノ酸ペプチドを含有するダイエット食品に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来より、肥満の解消、生活習慣病の予防、容姿を整えるなど様々な理由によりダイエットを実行する人は多く、ダイエットに対する関心は男女を問はず日々高まってきている。それに伴って各種のダイエット食品が開発され、例えば、食品自体を低カロリーとして摂取カロリーを抑えつつある程度の満腹感が得られるようにしたものの、脂肪、デンプン、糖分などの吸収を阻害する成分を含んだものなどがある。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の低カロリータイプのダイエット食品は、そのダイエット食品以外のものを食べることが制限されたために、無理に食欲を抑える欲求不満から長続きしなかったり反動で過食に陥ることもあり、効果が得難いものであった。あるいは食べる食品の種類が少ないために栄養が偏りがちになり、カルシウムなど必要な栄養が不足する場合もある。また特定の栄養の吸収を抑えるタイプのダイエット食品では、本来必要な栄養が不足することがあるという問題点もあった。さらに、特に男性がダイエットを行う場合は、単に肥満を解消するだけでなく、脂肪を減らして筋肉の多い引き締まった体型にしたいという希望を多く、摂取カロリーを抑えたり栄養の吸収を抑えたりするダイエット食品では不満があった。

【0004】 本発明は前記事情に鑑みてなされたもので、無理に食欲を抑える必要がなく、必要な栄養の不足を生じることなく、また引き締まった体型にするのに有効なダイエット食品を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 前記課題を解決するためには本発明の請求項1記載のダイエット食品は、動物性複合アミノ酸ペプチド、ビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>、カフェイン、およびカルシウムを含有してなることを特徴とするものである。また本発明の請求項2記載のダイエット食品は、請求項1記載の成分の他に、さらにカブサイシン含有してなることを特徴とするものである。

## 【0006】

【発明の実施の形態】 以下、本発明を詳しく説明する。

本発明で用いられる動物性複合アミノ酸ペプチドとしては、牛・羊筋肉を蛋白質分解酵素を用いて加水分解して得られるペプチドが好ましく用いられ、これらにはL形のカルニチンが比較的多く含まれている。このL-カルニチンは生体細胞内における脂肪酸酸化に関与することが知られており、したがって動物性複合アミノ酸ペプチドを摂取すると体内における脂肪の燃焼が促進され、また脂肪の蓄積が抑制されるのでダイエット効果が得られると考えられる。また牛・羊ペプチドは、特にそのアミノ酸組成が、脂質の代謝に有効なメオニンが多くて脂質に変化し易いグルタミン酸とアルバランギン酸が少ないでのダイエット効果に有利である点で好ましく用いられ、また原料の入手が比較的容易である点でも好ましく用いられる。

【0007】 本発明で用いられるビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>、カフェイン、カルシウムとしては、これらの各成分をそれぞれ含んでおり、食品または食品添加物として認められているものであればよく、原料や製法は特に限定されない。ビタミンB<sub>1</sub>は脂肪の代謝を促進させる

とともに、肌を美しくする効果があり、ビタミンB<sub>6</sub>は脂肪の代謝を促進させるとともに、蛋白質の吸収を良くする効果がある。またカフェインは細胞膜に存在するβ-レセプターを活性化させ、脂肪細胞の代謝を活発化してエネルギーを生産する方向に作動させる効果がある。カルシウムは日常において、またダイエット時に不足しがちなカルシウムを補う効果があり、特にサンゴカルシウムは、カルシウムだけでなく体内酵素系の活性化に不可欠なマグネシウムをはじめ多くのミネラルをバランスよく含んでいることから好適に用いられる。したがって、動物性複合アミノ酸ペプチド、ビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>、カフェイン、およびカルシウムを加えてダイエット食品を構成することにより、相乗効果により脂肪の代謝が促進されてダイエット効果が有効に得られるとともに、健康上好ましい栄養素が補給されるので健康的なダイエットを実現することができる。

【0008】 また上記の配合成分に、さらに賦形剤を加えて、錠剤など摂取しやすい適宜の形状に成型することが好ましい。賦形剤としては例えば結晶セルロース、乳糖、ショ糖脂肪酸エステルなどが好適に用いられる。

【0009】 また本発明のダイエット食品には、上記の動物性複合アミノ酸ペプチド、ビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>、カフェイン、カルシウム、および必要に応じて賦形剤に加えてカブサイシンを含有してなるものも含まれる。カブサイシンはトウガラシの抽出成分として得られるもので、これが経口摂取され胃と腸から吸収されるごとに、脳の中枢神経が刺激されて副腎皮質ホルモン分泌が促進される。そして、この副腎皮質ホルモンの分泌により、エネルギーの代謝が活発化されて脂肪が燃焼することが知られている。またカブサイシンを摂取する50と大量の汗をかき、代謝が活発になるために体内エネル

ギーが消費されることも知られている。したがって、本発明のダイエット食品は、動物性複合アミノ酸ペプチドに加えてカブサイシンを配合することにより、運動不足になりがちな人や、体質的に代謝が血行が悪い人でもエネルギー代謝が活発化されるので、運動によらずに体内エネルギーを消費する効果が得られるとともに、上述した動物性複合アミノ酸ペプチドによる脂肪燃焼促進効果が一層大きくなり、より効果的にダイエットできるという利点を有する。

【0010】(実験例1) ウィスター系ラット(雄; 体重16.0 g ± 2.0 g)に対して、羊筋肉を原料とした羊ペプチドおよび牛筋肉を原料とした牛ペプチドの重量比1:1の混合物(以下、羊牛ペプチドといふこともあら)を通常配合試料に加えて摂取させる方法で、14日間連続経口投与して飼育した。羊牛ペプチドの摂取量は体重1 kg当たり2.0 gとした。その結果、14日間の飼育後、全マウスとも外見および剖検的に異常は認められなかった。

【0011】(実験例2) 健常な成年男女42名に対して、1日当たり1 gの羊牛ペプチドを摂取してもらい、14日間連続摂取した後の体重変化を調べた。食事制限はしなかった。その結果、被検者42名中、18名に0.5~2.5 kgの体重の減少が認められた。また体重の増減が0.5 kg未満であった17名の中にもウエストサイズが減少した例が複数報告された。男女による有意差は認められなかった。これにより羊牛ペプチドを摂取することによりダイエット効果が得られ、肥満を解消、防止できることが認められた。

【0012】

\* 【発明の効果】以上説明したように本発明のダイエット食品によれば、動物性複合アミノ酸ペプチドに含まれるカルニチン成分によって、体内における脂肪の代謝が促進されて、脂肪が減少する効果が得られる。その結果体重が減少する。あるいは体重は変化しなくてもウエストサイズが減少するなどのダイエット効果が得られる。また本発明のダイエット食品は脂肪の代謝を促進することによってダイエットを実現するものであるので、従来の低カロリーのダイエット食品と異なり、ダイエット食品以外の食べ物を制限しなくても効果が得られるので、無理に食欲を抑える必要がない。したがって欲求不満によるストレスやリバウンドが生じることなく、健康的にダイエットを実行しやすいという利点がある。また特定の栄養分の吸収を制限するものではないので、必要な栄養分の不足によるやつれや骨量の減少、あるいはホルモンバランスの崩れといった問題を生じることなく、健康的にダイエットすることが可能である。さらに、本発明のダイエット食品の摂取によって脂肪の燃焼が高められるので、運動を併用することにより、脂肪を減少させかつ筋肉を増加させて体を効果的に引き締めることができる。したがって、男性などダイエットにより体型を引き締めることを望む場合にも好適であり、有効である。また動物性複合アミノ酸ペプチドに加えてカブサイシンを添加すれば、体内におけるエネルギー代謝が促進されるので、これらの成分の相乗効果によってダイエット効果が高められ、運動が不足しがちな人や体質的に代謝や血行が悪い人でも効果的にダイエットができるという利点が得られる。

\*

#### フロントページの続き

(51)Int.Cl. <sup>1</sup>	識別記号	F I	チ-マコ-1 <sup>1</sup> (参考)
A 23 L 1/304		A 23 L 1/304	
// A 61 P 3/04		A 61 K 31/00	603 K
A 61 K 31/165		31/165	
31/44		31/44	
31/52		31/52	
31/525		31/525	
33/06		33/06	
38/00		37/18	

(72)発明者 播磨 賦一  
東京都新宿区高田馬場1-31-8 高田馬場ダイカンプラザ819 株式会社アーバン・グッディ内

F ターム(参考) 4B018 LB10 MD04 MD20 MD23 MD48  
MD66 MD69 ME01 MF12  
4CD84 AA02 RA03 MA02 MA52 NA09  
ZA702 ZC212  
4CD86 BC18 CB07 CB09 HA04 MA10  
MA52 NA09 ZA70 ZC21  
4C206 AA01 AA02 GA03 GA28 MA03  
MA72 ZA70 ZC21